

学術フロンティアセミナー

(1) 学術フロンティア国際セミナー

実施日：2004年10月26日（火）

テーマ：Brain and muscle oxygenation/hemodynamics during exercise monitored by different approaches of near infrared spectroscopy.

Valentina Quaresima (University of L'Aquila, Italy)

(2) 第1回 学術フロンティアセミナー

実施日：2004年12月18日（土）

テーマ：筋疲労とタスク—アメリカ研究生生活で学んだこと，学んでいること—

篠原 稔 先生 (Department of Integrative Physiology, University of Colorado, Boulder, Colorado, USA)

(3) 第2回 学術フロンティアセミナー

実施日：2005年5月11日（水）

テーマ：Exercise induced hypoxemia and excessive respiratory muscle work

Craig A. Harms (Department of Kinesiology, Kansas State University, USA)

(4) 第3回 学術フロンティアセミナー

実施日：2005年5月30日（月）

テーマ：動脈硬化に対する運動の効果

田中弘文 先生 (Department of Kinesiology, University of Wisconsin, Madison, USA)

(5) 第4回 学術フロンティアセミナー

実施日：2005年10月18日（火）

テーマ：Human Calf Metabolism by ³¹P-NMR and NIRS

Valentina Cettolo (University of L'Aquila, Italy)

(6) 第5回 学術フロンティアセミナー

実施日：2006年2月15日（水）

テーマ：Why is maximal cardiac output reduced in chronic hypoxia ?

Jose Antonio Lopez Calbet (Professor of Exercise Physiology in the Department of Physical Education, University of Las Palmas de Gran Canaria, Canary Islands, Spain)

(7) 第6回 学術フロンティアセミナー 「若手研究者・大学院生のためのセミナー I」

実施日：2006年3月4日（土）

第一部

テーマ：日本女子体育大学学術フロンティア若手研究者の課題への取り組み

佐藤耕平 (日本女子体育大学・助手)

岩館雅子 (学術フロンティア研究支援スタッフ・ポスドク研究員)

大森芙美子 (日本女子体育大学・技術職員)

第二部

テーマ：よりよい科学論文を書く

「神経生理学の立場から」

Charles L. Rice (The University of Western Ontario, Canada)

「循環研究の立場から」

西保 岳 先生 (筑波大学体育科学系)

「環境生理学の立場から」

近藤徳彦 先生 (神戸大学発達科学部)

(8) 第7回 学術フロンティアセミナー「若手研究者・大学院生のためのセミナー II」

実施日：2006年6月10日 (土)

第一部

テーマ：初心者のための運動と循環研究

齊藤 満 先生 (豊田工業大学教授)

第二部 レクチャー・デモンストレーション

『超音波ドップラー法による循環調節の研究法』

「骨格筋への血流分配」

長田卓也 先生 (東京医科大学助手)

「脳への血流分配」

定本朋子 先生 (日本女子体育大学教授)

(9) 第8回 学術フロンティアセミナー

実施日：2006年6月22日 (木)

テーマ：乳酸シャトルへのアプローチ

橋本健志 先生 (University of California, Berkeley, USA)

(10) 第9回 学術フロンティアセミナー

実施日：2007年7月23日 (月)

テーマ：力調節の神経筋メカニズムと交感神経活動

篠原 稔 先生 (School of Applied Physiology Georgia Institute of Technology, Atlanta, USA)

(11) 第10回 学術フロンティアセミナー

実施日：2007年12月13日 (木)

テーマ：筋機械受容器反射と循環調節

松川寛二 先生 (広島大学大学院保健学研究科)